



ソジスト教会初代監督となった本多庸一の教育思想に感化され、教団の社会事業の奉仕活動に積極的に取り組まれました。また、熱心なクリスチャン棟梁としても知られ、日本基督教団弘前教会、弘前学院外人宣教師館のほか、日本各地に社会教育施設や宗教施設を遺しています。

鍛冶職人の三男として生まれた桜庭駒五郎は、日本メ



上. 弘前学院外人宣教師館(重要文化財)  
左. 日本基督教団弘前教会(県重宝)



# 洋館



1. 旧弘前市立図書館(県重宝)
2. 旧第五十九銀行本店本館(重要文化財)
3. 旧弘前借付社(重要文化財)
4. 旧東奥義塾外人教師館(県重宝)
5. カトリック弘前教会(趣のある建物) 堀江佐吉の弟である横山常吉の施工。



棟梁  
堀江 佐吉

津軽藩のお抱え大工・堀江家の5代目として生まれた堀江佐吉は、函館で洋風建築の基礎を学んだといわれ、その卓越した技能で旧第五十九銀行本店本館、旧弘前市立図書館、旧弘前借付社など斬新かつ華麗な洋風建築を数多く手がけました。彼の精神や技能は、弟子達に引き継がれ、教会など多くの洋風建築として、弘前の街に彩りを添えています。

## その他の洋風建築



左. 鏡ヶ丘記念館(県重宝) 中. 日本聖公会弘前昇天教会(県重宝) J・M・ガーディナー設計 右. 藤田家別邸洋館(登録有形文化財、趣のある建物)

## 弘前の建物と人物

## 洋館・近代・煉瓦

## 近代



1. 木村産業研究所(重要文化財) 2. 弘前中央高校講堂※ 3. 弘前市庁舎(登録有形文化財)※  
4. 弘前市民会館※ 5. 旧弘前市立病院 6. 弘前市立博物館※ 7. 弘前市緑の相談所※  
8. 弘前市斎場※ ※景観重要建造物に指定されています。



建築家  
前川 國男

近代建築の巨匠ル・コルビュジエのもとで学んだ前川國男は、パリから帰国後、処女作といわれる「木村産業研究所」を手始めに、「弘前中央高校講堂」や「弘前市庁舎」など、数多くの公共建築を弘前で手がけました。初期から晩年までの8つの作品が残る前川建築巡りは、日本の近代建築の歩みを辿るコンにもなります。

もともと大工であった福島藤助は、酒造りに適した弘前の土地柄と、文明開化という時代の流れに目をつけ、二十六歳で醸造業に転身しました。研究心旺盛な藤助は、季節に関係なくいつでも酒造りができる「四季醸造」という革命的な醸造法を考案し、近代的な設備も備えた煉瓦造りの工場をいくつも建設しました。これらの多くは現在でも当時の面影を残し、弘前銘醸や弘前れんが倉庫美術館などに引き継がれ、市民にも愛されています。



醸造家  
福島 藤助



弘前れんが倉庫美術館



弘前銘醸煉瓦倉庫(趣のある建物)



## 煉瓦